

令和4年度（2022年度）

# MHS GUIDE 2022



ホームページ掲載版

## 宮城県松島高等学校 ～観光科の取り組み～



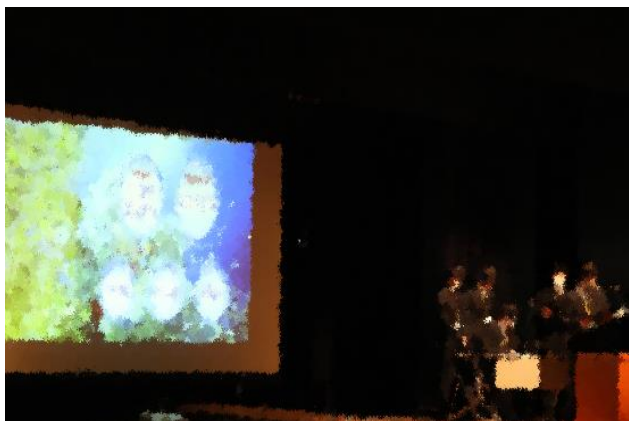
Miyagi Prefecture Matsushima High School

宮城県松島高等学校 観光科

## 目次

1	活動風景	p 2
2	観光科の概要	p 3
	(1) 入学定員	p 3
	(2) 沿革	p 3
	(3) 本校観光科の役割	p 3
	(4) 地域との連携によるふるさと宮城の再生・発展を支える人材育成	p 4
	(5) SDGS・ESD	p 5
3	事業	p 6
	(1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言における本校の状況について	p 6
	(2) 観光科開講式	p 6
	(3) 観光ボランティアガイド	p 7
	(4) 観光ボランティアガイド	p 7
	(5) 松島パークフェスティバル	p 8
	(6) 和室作法教室	p 8
	(7) 観光ボランティアガイド避難訓練	p 9
	(8) 松島フォーラム	p 9
	(9) 販売実習	p 10
	(10) 塩竈みなと祭り	p 11
	(11) 農業体験（環境保全米稲刈り体験）	p 11
	(12) 松島町交通社会実験	p 12
	(13) 松高おもてなしツアー（観光商品）	p 13
	(14) 観光ボランティアガイド	p 13
	(15) 研修旅行	p 14
	(16) 全国高等学校観高サミット	p 14
	(17) 教育旅行モニターツアー	p 15
	(18) みやぎふるさとCM大賞（収録・放送）	p 16
	(19) 観光実践発表会	p 17
	(20) 観光科講演会	p 18
	(21) 県教育委員会事業の活用	p 18

# 1 活動風景 ~Activation~



## 2 Over View ～観光科の概要～

### 1 観光科の概要

#### (1) 入学定員

観光科定員 80名

#### (2) 沿革

平成26年 4月 (2014年)

平成29年10月 (2017年)

平成31年 1月 (2019年)

令和 3年12月 (2021年)

令和 4年 3月 (2022年)

観光科設置

創造性に富んだ特色ある教育の実践により

(株)時事通信社 教育奨励賞を受賞

第12回キャリア教育優良教育委員会、

学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰受賞

スマート専門高校の実現

(デジタル化対応産業教育装置の整備)

デジタル化対応産業教育装置の整備完了

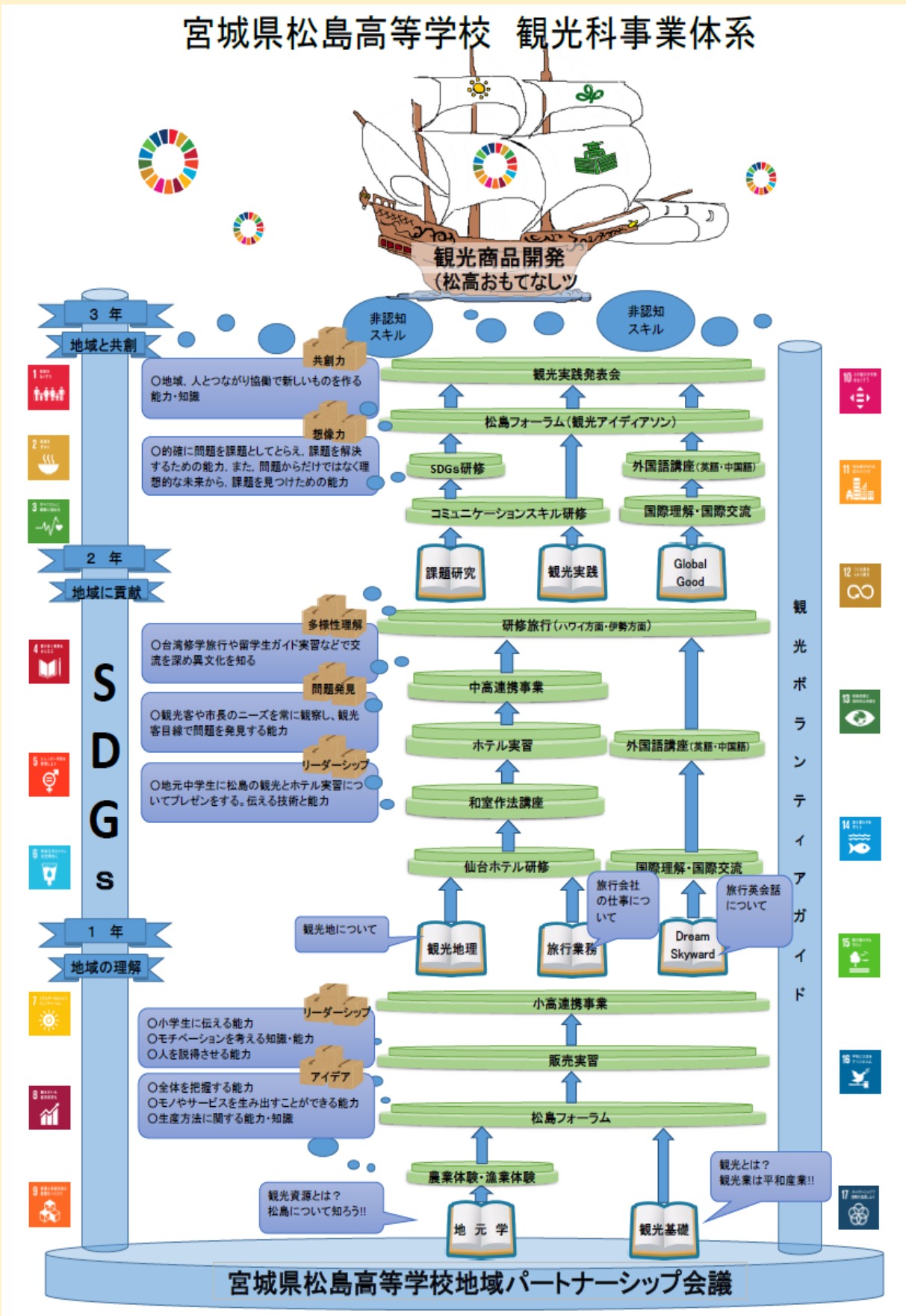
#### (3) 本校観光科の役割

宮城県松島高等学校が所在している「松島」は、その風光明媚な景観から古くは平安時代以前から霊場として名を馳せ、近年には宮城を代表する観光地として発展してきました。本校観光科はそのなか、観光に特化した学科設置の要望から平成22年に「観光科設置委員会」を発足し、松島町や地元のみならず、県内の観光機関・事業所から多くの御協力と御助言をいただき、4年間の準備期間を経て、平成26年に新設されました。

観光科では、「日本三景松島」の観光に係わる取組や資源を学習素材とし、社会で即戦力として活躍し地域に貢献できる人材の育成を目指しています。そのため観光客と直に接しながら、接客対応することによりコミュニケーション能力を高め「おもてなしの心」を育てています。また、「観光王国みやぎ」の実現に向けて観光産業や地域に貢献できる人材の育成を目指しています。これらの目的から、その土台となる郷土愛(シビックプライド)を育むために、1年生は「地域の理解」を段階的な目標とし、地域のボランティア活動に参加したり実習(田植え・稲刈り・販売実習)をしたりするなど積極的に地域で活動しています。2年生からは「地域に貢献」とし、実際に実習活動や観光ボランティアガイド等の体験を通して、どのような地域貢献ができるのか、何ができ何がしたいのかを自分自身に問いかけながら実習等を通して学びます。3年生は「地域と共創」とし、共創するために必要な知識や技術を身に付け自分自身をブラッシュアップしていきます。その成果物として「松高おもてなしツアー」を実施します。実際に商品化することにより、自身の「志」が実現できるのかを検証します。この様に、「観光資源を学ぶのではなく、観光資源から学ぶ」ことをモットーとし、自分に何が出来るか?何をしたいのか?そのためには、何を学ばなければならないのか?と言った。学習→体験→実習→学習(スキルアップ)→再チャレンジのサイクルを回しながら、人間形成ができるカリキュラムデザインが観光科の柱となっています。



(4) 地域との連携によるふるさと宮城の再生・発展を支える人材育成



### (5) 【SDGs】(Sustainable Development GOALS)

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(出展：外務省 Japan SDGs Action Platform)

(URL:<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>)



出展：国際連合広報センター

([https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/))

### 【ESD】(Education for Sustainable Development)

ESDは、持続可能な社会づくりの担い手を育むことを目的とした教育です。世界には、環境、貧困、人権、平和、開発といった、地球環境や人類社会の持続可能性を脅かす様々な課題が山積しています。このような「現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

出展：持続可能な開発のための教育 (ESD: Education for Sustainable Development)

(<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm>)



### 3 Business ～事業～

(1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言における本校の状況について

Situation
<p>令和2年1月以降、新型コロナウイルスが世界的に拡大してきた。我が国でも、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け令和2年3月に政府が全国に「緊急事態宣言」を発令した。</p> <p>本校では、新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づく宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部長（宮城県知事）からの学校施設の使用停止（休業）の要請等に基づいた臨時休校を実施したが、昨年度4月から5月にかけて臨時休業等の延長が続いた。令和2年6月以降、学校が再開されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による「新しい生活様式」の導入により中止せざるを得ない多くの学習活動があった。</p> <p>その主な行事については下記のとおりである。</p> <p>【令和2年度(一昨年)】</p> <p>1 学年：農業体験、販売実習等</p> <p>2 学年：仙台ホテル研修会、ホテル実習、研修旅行等</p> <p>3 学年：松高おもてなしツアー等</p> <p>【令和3年度(昨年度)】</p> <p>1 学年：販売実習等</p> <p>2 学年：仙台ホテル研修会、ホテル実習等</p> <p>【令和4年度(今年度)】</p> <p>1 学年：農業体験（田植え）</p> <p>2 学年：ホテル実習</p> <p>※その他は時期や期間等を考えながら実施することができた。</p> <p>観光科の教職員が観光における学習活動の実施について令和2年3月以降、何度も検討を重ねてきたが、新型コロナウイルスへの対応について詳細が不明であることや、企業の休業が続いたことと地元松島に対する影響を考慮することにより社会情勢を鑑みて、昨年度までは各実習を中止し、夏季休業を中心に実習代替授業を行った。</p> <p>今年度においては「コロナだから何もできない！」ではなく、「こんな時期だからこそ学べることもある」という気持ちで、コロナ前に実施してきた実習やイベントへの参加等、考え方や形を変えることで、極力実施することができた。本校観光科において、実習を行うことを目的に入学した生徒が多く、過去二年間は実習の中止について大変残念がっていたが、「With Corona」と「After Corona」を見据えた「ICT機器」を活用した新しい授業に取り組むことで、目標を新たに設定し、目的に向けて学習活動に取り組み、達成感を得た生徒が多かったことが救いである。(今年度においては9割方実施することができた。)</p>

(2) 観光科開講式

地域を理解	
日 時	令和4年4月13日（水） 11時00分～12時50分
場 所	本校 視聴覚室
主 題	宮城県における観光の現状と課題 ～観光に従事する人材育成の重要性～
講 師	宮城県経済商工観光部観光課 参与 本郷 昌孝 氏
参加者	観光科1年生（44名）

#### 【Report】

4月13日（水）に観光科開講式が行われ、宮城県観光連盟事務局長の本郷昌孝様より御講演をいただきました。観光の意義や宮城県の観光に関して様々な施策があることを知る事ができました。また、観光業は6次産業と言われるほど、経済波及効果が大いことに驚きました。そして講演の後半には、仙台・宮城観光PRキャラクターのむすび丸が登場し、クイズを行いました。むすび丸のことや宮城県のことについて詳しく知ることができました。正解した生徒には景品もあり、楽しく学習することができました。



続いて、観光科の先輩方から3年間の活動内容を教えていただきました。まず1つ目は観光ボランティアガイドについてです。昨年は感染拡大防止のため、バーチャルツアーを実施したり、観光スポットの紹介動画を作ったりしたそうです。2つ目は販売実習やホテル実習などの校外実習について説明していただきました。2年生は約2週間、ホテルに泊まり込み、接客やベッドメイキングなどの実習を行います。昨年は中止となったため、研修旅行の際にホテル実習の一部を実施したそうです。その際の様子を動画で紹介していただきました。今回の開講式で、観光科の活動について詳しく知ることができ、私達も先輩方のように観光科の一員としてしっかり取り組んでいきたいと思いました。

(観光科1年生)

## (3) 観光ボランティアガイド

地域に貢献	
日 時	令和4年4月28日(木) 8時35分～14時50分
場 所	松島防災センター・松島海岸付近
内 容	観光ボランティアガイド
参加者	観光科3年生(74名)

## 【Report】

私たち観光科3年は、4月28日(木)に石巻工業高校の2学年の皆様を迎えて観光ボランティアガイド実習を行いました。3学年になって初めてのガイド実習でしたが、みんなコミュニケーションをとって楽しんで行うことができました。

最初に、遊覧船に各班のリーダーと一緒に乗船し、御案内しました。続いて円通院、洞窟遺跡群、瑞巖寺と御案内いたしました。ゆっくりと松島を楽しんでもらうことができましたのでよかったです。



私の班は、お客様の人数が多くてまとめるのが難しかったのですが、班のみんなと協力しガイドをすることができました。また、お客様も私たちの話をしっかりと聞いてくださったので、とても話しやすかったです。

ガイドを終え、続けて私たちは福浦島へ探索に向かいました。観光科3年生は、11月におもてなしツアーを予定しており、その時に活かせるものを探しに行きました。福浦島は思ったよりも広くて歩くのが大変でしたが、島から見る海も絶景で、ぜひたくさんのお客様に見に来ていただきたいと思いました。



(観光科3年生)

## (4) 観光ボランティアガイド

地域に貢献	
日 時	令和4年5月23日(月) 11時00分～15時45分
場 所	松島防災センター・松島海岸付近
内 容	観光ボランティアガイド
参加者	観光科2年生(49名)

## 【Report】

私たち観光科2年生は、5月23日(月)に観光ボランティアガイド実習を行いました。

この日のお客様は、北海道新川中学校の生徒の皆さんです。自主研修ということで、事前に行きたい場所やコースを考えてきていただきました。私の班はトリックアートに行きました。そこは箱から首だけが見えたり、同じ部屋にいるのに一人一人の大きさが違って見えたりなど、さまざまな不思議がありました。他にも円通院や瑞巖寺のガイドを行いました。最後のお別れ会のときに、北海道新川中学校の代表の生徒一人が「教えてもらって良かった」「楽しかった」など感想をいただいて、私たちも達成感を感じるとともに、さらに上手にガイドできるように頑張りたいと思いました。



(観光科2年生)



## (5) 松島パークフェスティバル

地域に貢献	
日 時	令和4年5月29日(日) 8時30分～16時30分
場 所	松島海岸
主 催	松島パークフェスティバル実行委員会
参加者	観光科有志生徒(40名)

## 【Report】

5月29日(日)、松島高校のボランティア部と観光科2年生総勢24名がボランティアとして参加しました。

このお祭りは、「松島を音楽で元気にしたい」という気持ちで集まった方々が立ち上げた、「松島の自然と歴史をステージ」にした野外音楽祭です。新型コロナウイルス流行で、2020年は中止、2021年は時期をずらして開催、そして今年はいつものシーズンに戻っての開催でした。会場は、松島海岸一帯で、エリアごとに分かれて開催しました。有名なアーティストの方々をはじめ、様々なアーティストと高校生バンドが出場し、大いに盛り上がりました。



また、私たちは各ブースにて司会等も体験させていただきました。初めはとても緊張し上手くお客様の前でお話できませんでしたが、回数を重ねるごとに上手に話せるようになりました。今回の経験を通してお客様の前に立ってお話をするの大変さと同時に楽しさも学ばせていただきました。本当に良い経験になりました。

今年の松島パークフェスティバルは晴天に恵まれ、夏のような天気と、出演者の熱気であつい一日になりました。来年度以降もまた、松島高校生でお手伝いをさせていただきたいと思います。



(観光科1年生)

## (6) 和室作法教室

コミュニケーション力	
日 時	令和4年6月8日(水) 13時30分～15時20分
場 所	松陵会館和室
講 師	表千家 渡辺 かつ子 氏
参加者	観光科2年生(49名)

## 【Report】

私たち観光科2年生は、6月8日(水)に茶道の先生から和室作法を学びました。事前に授業内でも和室作法を学び望みましたが、実際に和室で行って作法講座は普段の生活では意識していない部分が多く、慣れていないためとても難しく感じました。また、事前授業では学べなかった和室作法も多くあり、細かく知ることができてとても勉強になりました。その中でも、今回の授業で印象に残っている事が二つあります。



一つ目は、和室の入退室の方法です。「襖の開け方」や「閉め方」など普段のドアを開けて入退室する感覚や作法とは違い、和室への入退室の際は必ず座ってからドアを開けることが基本になることを学びました。


二つ目は、「練る」や「にじる」という和室作法です。言葉だけでは想像が付きにくい作法でしたが実際に体験してみて、とても必要な作法だと感じました。

今回の和室作法講座は、講師の先生に一つ一つ優しく丁寧に作法を教えていただき、とても印象に残りました。観光科の生徒として、和室作法を身につけることは自分の人間性を上げることにもつながります。今回、講師の先生に教わった事を忘れずに夏季休業中に実施される「販売実習」も頑張りたいと思います。




(観光科2年生)


## (7) 観光ボランティアガイド避難訓練

創造力	
日 時	令和4年6月25日(土) 8時30分～12時30分
場 所	松島防災センター、三十刈避難所
内 容	観光ボランティアガイド時における避難訓練
参加者	観光科1年生(44名)、2年生(49名)
<p><b>【Report】</b></p> <p>私たち松島高校観光科は、6月25日(土)に観光ガイド中の避難訓練を実施しました。</p> <p>今回の避難訓練は、ガイド中に津波注意報が発令されて、案内役の2年生がお客様役の1年生を避難させるという内容でした。</p> <p>その日は気温が30度以上あり大変でしたが、2年生が一生懸命汗水を流しながら1年生を避難誘導しました。避難をする中で、大変と感じたことをお話しします。</p> <p>始めに、ガイド場所から防災センターへ向かう時の話です。五大堂の透かし橋をガイドしているときに津波注意報の通知がありました。</p> <p>避難をする際、ガイド役が焦るとお客様も不安になってしまうので、お客様に声をかけながら避難をしました。</p> <p>次に、防災センターから三十刈避難所まで行くときに大変だったことが2つあります。</p> <p>1つ目は坂道が沢山あって、暑い中だと疲れてしまうことです。</p> <p>2つ目は前日に雨が降っていて地面が滑りやすかったことです。濡れているところが日陰になっていて乾いていませんでした。いずれにしても、いろんなところに注意をしながら避難誘導しました。</p> <p>最後に、暑い中でしたがみんな一生懸命に取り組み、1年生に避難経路を教えることができ、私たちも学びが多い取り組みとなりました。</p>	
	
(観光科2年生)	

## (8) 松島フォーラム

創造力	
日 時	令和4年7月5日(火) 13時30分～15時30分
場 所	松島町文化観光交流館 アトレ・る Hall
講 師	<p><b>【インプットトーク】</b></p> <p>講演「松島町の観光事業について」 松島町産業観光課 観光班 班長 酒井 文明 氏</p> <p>講演「松島町での取組について」 E-TEC 特定非営利活動法人 環境生態工学研究所 理事 博士(工学) 佐々木 久雄 氏 環境調査部 主任研究員 大谷 考一 氏 研究員 齊藤 愛実 氏</p> <p>講演「防災と観光、観光から見る松島、他県の観光について」 一般社団法人 松島観光協会 会長 志賀 寧 氏</p>
参加者	観光科1・2・3年生
<p><b>【Report】</b></p> <p>7月5日に、観光科全学年が集まり松島町文化観光交流館で松島フォーラムが行われました。</p> <p>昨年の松島フォーラムではコロナウイルスの影響で松島を訪れるお客様が減ってしまっているというお話をもとに講話をしていただいたのですが、今年は客足が例年よりも戻ってきていることや、外国人のお客様も少しずつ増えているということなど、昨年と違ったお話を聞くことができとても勉強になりました。また、今年の3年生観光科が行う「おもてなしツアー」で役立つ、松島湾での藻場の震災後の状況とこれからの復活させるための今後の活動について大きく学べました。</p> <p>昨年の観光科ではSDGs活動の一環で藻場再生活動として福浦橋から砂団子を投げ入れる活動をしていました。</p> <p>今年も藻場を増やすために楽しめるイベントを考えていきたいと思っています。</p>	
	
(観光科3年生)	

## (9) 販売実習

地域を理解・地域に貢献	
日 時	令和4年7月21日(木)から 8月8日(月)まで 8時30分～15時30分
場 所	松島町内外各事業所(25事業所)
協 力	株式会社利久松島店, 株式会社阿部蒲鉾店松島寺町店, 円通院洗心庵, 日本三景松島巡り観光船企業組合中央営業所, 丸文松島汽船株式会社松島営業所, 松島国際観光株式会社たいかん亭, 有限会社松華堂・松島雪竹屋, 鈴木屋物産株式会社, 株式会社松島蒲鉾本舗, 宮城産業株式会社陸奥物産店, 株式会社松島観光物産館, みちのく伊達政宗歴史館, 松島さかな市場, 株式会社むとう屋, さんとり茶屋, 有限会社八百東商店, 小松館好風亭, 松島センチュリーホテル, 株式会社松観, 松島町福浦橋Café ベイランド, ザ・ミュージアム MATSUSHIMA, 松島佐勘松庵, 有限会社南部屋, 杉原功商店, 公益社団法人宮城県観光連盟
参加者	観光科1年生(44名), 2年生(49名)
【Report】	
 <p>私は、一週間の「販売実習」でしか体験できない学びを得ました。それは、接客の仕方についてです。</p> <p>最初に担当の方から、「接客は、相手に聞こえる声で内容を短くまとめて言う」ことを担当の方から教えていただきました。実際にやってみるとなかなか緊張して声が出ませんでした。私自身が思っている以上に声を出さないと聞こえないことが分かりました。何回も練習していくうちにだんだんと声が出るようになり、初日とは比べ物にならない声で接客することができました。</p> <p>初めて大きな声で接客できたときは、大変うれしかったです。また、実習初日には、何をすればよいかわからず何もできなかったのですが、担当の方が優しく仕事を教えてくださり、できる仕事が増えました。</p> <p>一週間仕事をしてみて大変なこともありましたが、最終的には楽しく実習をすることができました。</p> <p>この経験を学校生活に生かせるように努力していきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(観光科1年生)</p>	



私は、おさかな市場で販売実習をしました。夏休み期間中の実習だったので、朝早く起きて実習に行けるか実習先で失敗をしないかと不安でした。

実際の仕事は、食券機のところでお客様におすすめの商品を説明、客席への案内、配膳業などです。

その際に学んだことは、お客様にわかりやすく商品を説明することの大変さです。

初めのうちは、緊張して小さな声で説明することしかできませんでした。また、お客様が求めていることが何かによっておすすめ商品が変わるということも分かりました。

実習後半には、大きな声でお客様が求めている商品を聞き取り上手に説明し、食券を実際に買ってもらえて大変嬉しかったです。

実際に実習先に行ってみると最初の不安が嘘みたいに消えました。それは担当の方が、初めに優しく仕事を教えて下さったからです。


仕事を覚えるごとに仕事の楽しさを感じながらのあつという間の二週間でした。

おさかな市場の皆様には、このような機会をいただき、大変ありがとうございました。



(観光科2年生)



## (10) 塩竈みなと祭り

地域に貢献	
日 時	令和4年7月18日(月) 【祝日：海の日】
場 所	塩竈市内各所
主 催	塩竈市商工観光課 塩竈みなと祭協賛会事務局
参加者	ダンス部(18名)
<p>【Report】</p> <p>私達ダンス部は7月18日(月)塩竈みなと祭りに参加してきました。1年生は、人前で初めてダンスを披露し、緊張していましたが楽しく踊ることができたと思いました。</p> <p>コロナウイルス感染拡大のため、久しぶりのイベント参加となりましたが、私達らしいダンスをすることができました。</p> <p>沢山の方々に応援していただいていたって楽しかったですし、思い出に残りました。</p> <p>体調不良のため部員全員揃うことができなかったため、イベント直前に曲や振り付けを変更するところがありバタバタしていましたが、練習の時よりも上手くできたと思います。後日、自分たちの動画を観ると、すごく笑顔で、改めてダンスの楽しさや喜びを実感しました。</p> <p>次回は文化祭です。3年生のRAVEは、最後のステージになります。自分達も皆さんも盛り上がるようなステージにできるように頑張りますので応援をお願いします。</p>	
	
(観光科3年生)	

## (11) 農業体験(環境保全米稲刈り体験)

地域を理解	
日 時	令和4年10月18日(火) 8時35分～12時50分
場 所	品井沼幡谷地区
主 催	松島町産業観光課産業振興班
共 催	(有)セントラルライス中通, JA 仙台営農部営農指導センター米穀課, JA 仙台東部営農センター, JA 仙台松島地区活性化協議会加工部会
参加者	観光科1年生(44名)
<p>【Report】</p>  <p>10月18日(火)観光科1年生は、電車で品井沼にある地域の田んぼ行き、稲刈り体験を行いました。</p> <p>5月に田植えを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際に田んぼへ行って田植え体験することはできず、代わりに学校でバケツに稲を植えました。今回は、実際に田んぼへ行き、稲を手で刈る手刈り体験をしました。また、各クラスの代表4名がコンバインに乗り、稲を刈る体験をしました。初めて稲刈りを行う生徒も多く、最初のうちは、悪戦苦闘しました。</p> <p>農家の方々に上手く稲を刈るコツを教えてくださいと、コツを掴むと上手く刈ることができました。</p> <p>稲刈り体験を通して作物を育てる大変さ、食の大切さを学ぶことができました。また、多くの方々に協力をしてもらい、稲刈りを無事に終えることができたことに大変感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">(観光科1年)</p>  <p>私は、農家の方々と一緒に稲刈り機械を運転して稲を刈りました。</p> <p>手で刈るにも機械で刈るにもコツがあることが分かりました。お昼には、環境保全米の「ササニシキのおにぎり」と宮城で取れた食材を使ったお弁当を頂きました。</p> <p>宮城の秋の食材があまりにも美味しく感動しました。</p> <p style="text-align: right;">(観光科1年生)</p>	

## (12) 松島町交通社会実験

地域に貢献	
日 時	令和4年10月28日(金)から 10月30日(日)まで
場 所	松島防災センター・松島海岸付近
主 催	国土交通省・宮城県・松島町等
参加者	観光科2年生(49名)

## 【Report】



私たち、松島高校観光科2年生は、10月28日(金)から10月30日(日)の松島町交通社会実験に参加してきました。武将隊チーム、電動車いすチーム、道路アートチームに分かれて活動してきました。

私は、武将隊チームのお姫様役として活動してきました。主に交通規制がされている道を武将に扮した同級生たちと隊列を組み一緒に歩きながら松島温泉の元を(入浴剤)を配りながら、松島町をPRしてきました。

10月28日(金)は平日ということもあり観光客の人たちが少ない印象でしたが、10月29日から30日の土日は、お客様が多く入浴剤があつという間になりました。また、武将の甲冑や着物姿だったので観光客の方に「写真と一緒にとってもいいですかと」声をかけられ、最初は緊張しましたが、笑顔で撮影をすることができました。私たちにできることは、小さいことですが、コロナが収束して宮城県に観光する人が増え、松島町に賑わいが戻るとよいと思いました。

(観光科2年生)

## 【道路チョークアートに参加して】

私は、道路チョークアートのコーナーで親子連れのお客様に声をかけて道路にチョークを使って思い思いの絵を書いて貰うという活動を行いました。

普段は、自動車やトラックが走っている道路に絵を書くということで、最初は戸惑っていた子供や大人たちでしたが、一回書き始めると子ども大人関係なく絵を楽しそうに書いているのが印象的でした。

通行止めが解除される20分前には、ブラシを使って道

路を綺麗にしなければならず大変でしたが、参加して下さった方々の笑顔が見られました。



(観光科2年生)

## 【武将隊として参加して】

私は、武将隊チームとして伊達政宗の甲冑を着て松島町交通社会実験に参加しました。学校の3Dプリンタで作成した兜をかぶり参加しました。

当日は、晴天に恵まれ甲冑を着て歩くのは大変暑く、もしも本物の甲冑を着て隊列を組んで歩いていたらと想像すると重すぎて歩くことはできないと思いました。

封鎖された道路を歩いていると小さい子どもたちから「一緒に写真を撮ってください」と声を掛けられました。

子どもたちが目をさせ近づいてくるので、その期待にこたえられるように振舞いました。少し恥ずかしさもありましたが松島町に貢献できていると実感できました。



(観光科2年生)

## 【電動車いす体験コーナーに参加して】

私は、大学生の方々と協力し観光客の方に電動車いす体験を進める係を行いました。

実際に活動をする前に電動車いすに乗って体験をしました。大勢の人とすれ違う時がものすごく怖かったです。また、小さい上りの段差を上ることに苦労しました。

体が不自由な方や困っている人を見かけたときは、優しく声を掛けお手伝いできればと思いました。



(観光科2年生)

## (13) 松高おもてなしツアー（観光商品）

共創力	
日 時	令和4年11月5日（土） 8時30分～16時00分
場 所	本校北校舎・松島防災センター・松島海岸等
DMO	宮交観光サービス㈱, 松島町, 国宝 松島青龍山瑞巖円福禅寺, 臨濟宗妙心寺派 円通院, 洗心庵, ㈱インアウトバウンド仙台・松島, E-TEC 一般財団法人 山形県理化学分析センター環境調査部
参加者	観光科3年生（74名）

## 【Report】

3年生の集大成とも言える「松高おもてなしツアー」を行いました。夏休み期間に「松高おもてなしツアー」を成功させるために様々な準備を行ってきました。私は、松島武将隊の活動を行いました。

一から台本を作ったり、演舞をする際に使用する鎧などの修復作業をしたりしました。その中でも私の役割は音響でした。演舞の動きに合わせて効果音を入れたり、BGMを流したりするのが難しく大変でしたが、本番ではとても良い演舞ができ、お客様にも喜んでもらえてとても嬉しく、良い体験ができました。

（観光科3年生）

11月5日「松高おもてなしツアー」が行われました。

私は、バスガイドの役割を担当しました。

バスガイドでは松高から松島海岸の近くに着くまでの役割でした。苦勞した点は、ガイド原稿のほかに話を続けることが難しかったです。しかし、普段できない経験をすることができたのでとても良かったです。また、良かった点は名前を覚えてもらったことや「バスガイド良かったよ」と声に出して言われたことです。

三年間の学んだことを最後の「松高おもてなしツアー」に活かすことができたので良かったです。また、観光科に入ってよかったと思いました♡

（観光科3年生）



## (14) 観光ボランティアガイド

地域に貢献	
日 時	令和4年11月9日（水） 8時35分～12時50分
場 所	松島防災センター・松島海岸付近
内 容	観光ボランティアガイド
参加者	観光科1年生（44名）

## 【Report】

## 【ガイド実習を終えて】

私たち1年生は、11月9日（水）に宮城県松山高校様のガイドを初めて1年生のみでガイド実習を行いました。

ガイドをする松山高校の生徒は、同学年ということもあり緊張せずにガイドをすることができました。

ガイドでは、松島の魅力を伝えられるように分かりやすく説明することを心掛けました。今回の実習では、自信をもってガイドをすることができませんでした。次回のガイドまでには、自信をもってガイドできるようになりたいと思いました。また一人でも多くのお客様に「楽しい」「また松島にきたい」と心から思ってもらえるようなガイドができるように努力したいと思います。



（観光科1年生）

## 【初めてのガイド実習】


ガイド実習は、私が思っていた以上に大変でした。先輩からガイドの際のコツや注意点を学ぶ機会があり、その際に「時間を守って案内をすることが大切」という話を聞いていましたが、今回は、時間通りにガイドをすることができませんでした。同級生が上手に説明やガイドをしている姿を見ると、私も上手に説明やガイドができるようになりたいと思いました。

次回ガイドするときは、今回の経験を活かし松島の魅力を伝えられるように普段の授業に取り組みたいです。





（観光科1年生）

## (15) 研修旅行

コミュニケーション力	
日 時	令和4年12月 4日(日) から 12月 9日(金) まで
場 所	近畿方面(三重・京都・大阪)
内 容	ホテル研修・模擬結婚式等
参加者	観光科2年生(47名)
<p><b>【Report】</b>  <b>【研修旅行の思い出】</b>            観光科2年生は、12月4日～9日の5泊6日で近畿方面研修旅行に行ってきました。二年前は中止、昨年は旅行先を宮城・福島に変更して研修旅行を行いました。今年は、従来通りの日程で行くことが出来ました。</p> <p>鳥羽高校との交流から始まり、女将さん講話、伊勢神宮参拝、ガイド講話、清水寺見学、天橋立見学、宮城観光PR活動、ホテル研修、京都市内班別自主研修、そして最後にUSJに行ってきました。</p> <p>三重県の鳥羽では、鳥羽高校と交流をしてきました。鳥羽高校の交流では、鳥羽高校の生徒から鳥羽水族館についてガイドをしていただきました。普段私たちは、松島に来る修学旅行生などをガイドする立場ですが、今回は、お客様としてガイドしていただく立場でした。</p> <p>実際にガイドしてもらい気付いた点があります。ガイドに対する思いや地域に対する愛、ガイドを行う施設や文化に対する知識などを相手に分かりやすく説明する技術などをしっかりと身に付けなければならぬと改めて感じました。</p> <p>女将さん講話では、一日目の宿泊先である鳥羽ビューホテル花真珠の女将さんからコロナ禍の宿泊業界の現状(お客様の減少等)と生き残りをかけた対応策等(SNSの活用など)についてお話をいただきました。</p> <p>また、京都市内の商業施設であるゼスト卸池というところで「みやぎの観光PR」活動をしてきました。</p> <p>「宮城の魅力を少しでも知ってもらい、コロナの前以上に宮城に観光客が来てほしい」と考え、チラシと模造紙を作って「みやぎを観光PR」をしてきました。</p> <p>発表を聞いていただいた一般のお客様から「今度、宮城に行ってみるね!」と声を掛けられました。ほんの少しですが、地元宮城に貢献できたと感じました。</p>	
	
(観光科2年生)	

## (16) 全国高等学校観高サミット

創造力	
日 時	令和4年12月22日(木) から 12月23日(金) まで
場 所	松島防災センター・松島海岸付近
主 催	全国高等学校観光教育研究協議会
参加者	観光科2年生(5名)、3年生(16名)
<p><b>【Report】</b>  <b>【令和4年度 第10回全国高等学校観光サミットに参加して】</b>            全国から観光を学ぶ高校生が松島に集まり、日頃の学習内容や研究内容、商品開発などについて松島を会場に研究発表会が行われました。私たちは、一年前から準備に取り掛かり紹介ポスターやリーフレット作成、観光商品開発などの取り組みについて発表を行いました。</p> <p>「インバウンド・アウトバウンド賞」を頂くことが出来ました。また、発表会後には交流会があり松島を観光しながら全国から集まった生徒たちと交流を深めました。</p>	
	
(観光科2年生)	
<p><b>【最後のボランティアガイドを終えて】</b>            令和4年12月22日(木)から23日(金)にかけて「全国高等学校観高サミット」が松島で開催されました。</p> <p>1日目は全国の高校生の発表を聞き、2日目に私たちが松島をご案内しました。私たち3年生にとってはラストのボランティアガイドになりました。初めて松島・宮城に来たという方が多かったので、松島の魅力を紹介できるように、いつも以上にガイドに力を注ぎました。</p> <p>今回は、お客様が全員違う高校の方だったので、お客様同士でありお話が盛り上がらなかったりと、私たちが全員に話題を出して会話をするなど苦戦した部分もありましたが、最終的には全員と仲良くなれ松島・宮城の魅力を紹介することが出来「また絶対来るね!!」とってもらえたので嬉しかったです。後輩のみんなには、私たち以上に松島・宮城の魅力を紹介できる観光ボランティアガイドを行えるようになって欲しいです。</p>	
	
(観光科3年生)	

## (17) 教育旅行モニターツアー

コミュニケーション力	
日時	令和4年12月26日(月) 8時35分～12時50分
場所	松島海岸付近
内容	観光ガイド・プレゼンテーション等
参加者	観光科2年生(5名)

## 【Report】

## 【教育旅行モニターツアーに参加して】

宮城県経済商工観光課観光政策課主催による教育旅行モニターツアーに参加してきました。

私たちは、観光商品企画開発の一環として松島の歴史や名所・史跡のガイドと総合的な探求の時間の交流事業を想定したプレゼンテーションを行いました。

松島湾で行われている、アカモクを活用したSDGs活動の紹介や本校で実施しているアカモクを活用した商品開発について紹介をしました。

モニターツアー参加された方々からは松島高校観光科の取り組みや他校生との事前交流の必要性などご意見を頂きました。

モニターツアーでは観光科が行っている観光ボランティアガイドを行いました。観光ボランティアガイドでは、円通院などをガイドしてきました。

モニターツアーに参加された方々が楽しんでいる様子が数多く見られました。



(観光科2年生)



## 【教育旅行モニターツアーでの発表を終えて】

私は、「アカモク再生プロジェクト」について発表を行ってきました。

アカモクは、海藻の一つで、東日本大震災の影響で減少した海藻です。

アカモクが増えると海の環境が良くなるそうです。

そんなアカモクを使ってスイーツができなかと私たちは考え今回のモニターツアーでアカモクスイーツを提案発表してきました。

まだ、試作段階で具体的な商品は、提供できませんでしたが、発表を聞いていただいた方々から貴重なご意見を頂くことが出来ました。

実際に私たちが考えたスイーツが店頭に並ぶようこれから試作品を作成に取り組みたいです。

開発に成功した際には、ぜひ皆様に食べていただきたいと思っています。

(観光科2年生)



## (18) みやぎふるさとCM大賞 (収録・放送)

地域に貢献	
日 時	令和5年1月 3日 (火) 13時00分～15時00分
場 所	KHB東日本放送 本社スタジオ
主 催	KHB東日本放送
参加者	観光科3・2・1年有志

## 【Report】



## 【ふるさとCM大賞にて「おもしろ賞」を獲得】

私たちは昨年10月に、ふるさとCM大賞において松島町をPRするため作品制作の一環としてCM撮影をしてきました。

今回の撮影のテーマは「千貫島（せんがんじま）の名前の由来を喜劇的に再現する」でした。

松島湾には、大小260余りある島のひとつに、千貫島があります。千貫島は、伊達政宗公が湾内で遊覧した際に、この島の形の良さに大変感激し「あの島を余の館に運ぶ者あらば銭千貫を遣わす」と言ったことから千貫島と名付けられたそうです。

私は、伊達政宗公役としてCM撮影に参加しました。伊達政宗公といえば皆さんは、どのようなイメージをもたれているのでしょうか？私がイメージする政宗公はクールでかっこいいです。

しかし、私が演じた政宗公は、一味違う政宗公になっています。

私たちは、松島の魅力を紹介できるように一生懸命演じました。気になった方は、ぜひ検索サイトで「みやぎふるさとCM大賞」を検索していただき、見ていただければ嬉しいです。また、ぜひ松島に足を運んでいただき実際の千貫島を見てください。

(観光科3年生)



## (19) 観光実践発表会

共創力	
日 時	令和5年1月17日(火) 8時45分～12時50分
場 所	松島町文化観光交流館 アトレ・るHall
来 賓	E-TEC 特定非営利活動法人 環境生態工学研究所 理事 佐々木久雄 氏 理事 山田 一裕 氏 株式会社インアウトバウンド仙台・松島 DMO事業コーディネーター 佐藤 美央 氏 坂口 朋美 氏
発表者	観光科1・2・3年生
参加者	観光科1・2・3年生

## 【Report】

## 【観光実践発表会を終えて】

1月17日(火)にアトレるを会場に観光実践発表会(観光科生徒が各学年で行っている取り組みを発表する場)が行われました。

3年生が企画・運営した「松高おもてなしツアー」では私はリーフレット制作と松島武将隊チームとして携わりました。発表会ではリーフレット作成で工夫したところや松島武将隊で苦労した点について発表を行いました。

発表の準備期間中はチーム内で話し合いを行い発表する内容を決めました。

今年のおもてなしツアーは2年ぶりに従来どおりのリアル開催で実施することができました。

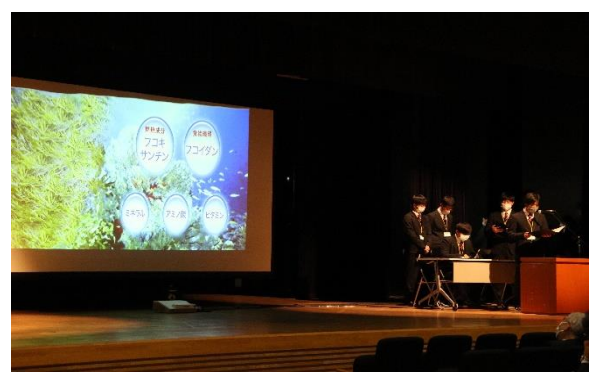
「お客様を松島に招いて案内できた喜び」を後輩たちにどのようにすれば伝わるかを意識して内容を検討しました。その結果、ツアーで行った演武の様子を動画で紹介しました。

リーフレットのターゲットやデザインの工夫についてクイズを出したり、分かりやすく説明することを心掛けました。私たち3年生観光科は、この発表会が最後の活動となります。

3年間を振り返ると松島町の方々や多くの企業の方々が私たちの取り組みや行事に理解をいただき、温かい気持ちで支えていただきました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



(観光科3年生)



## (20) 観光科講演会

共創力	
日 時	令和5年1月17日(火) 13時20分～15時20分
場 所	松島町文化観光交流館 アトレ・るHall
講 師	伊達忍者「一の草」 蒼 月：大澤美樹子 氏 伊賀市観光大使（伊賀忍者特殊軍団） 阿修羅：熱海 香鈴 氏
発表者	観光科1・2・3年生
参加者	観光科1・2・3年生

## 【Report】



## 【伊達忍者の講話を聴いて】

伊達家と忍者の歴史、現在の忍者の活動と観光についてお話をいただきました。

私は、伊達家と忍者の関りは全く分からなかったのですが、講話を聴いて様々な場面で忍者が活躍しており、政宗公を影で支えていたことが分かりました。また、現在は外国人観光客に忍者は人気があるとお話をうかがい驚きました。

忍者の格好をして写真を撮って楽しみたい方、忍者の歴史や修行内容を知りたい方など様々なニーズがあることが分かりました。

講話の最後には吹き矢体験がありました。講話の中で緊張した時やストレスがかかった時に忍者が行っている心を整える方法「九字切り」を教えてくださいました。「この場が実践のチャンスだ！」と思い教わったとおりに九字切りを実践して吹き矢を吹きましたが、私が考えていた以上に矢を的に当てるのが難しかったです。

忍者の方講師の方は、高確率で的の真ん中に当て修行を相当積んでいるのだらうと思いました。

今回の伊達忍者講話を聴いて大変忍者の歴史や観光に興味を持つことができました。

(観光科1年生)



## (21) 県教育委員会事業の活用

## ①魅力ある学校づくり支援事業

主管課 高校教育課 学校経営・生徒指導班

## ②外部講師活用事業

主管課 高校教育課 学校経営・生徒指導班

## ③特殊な学科の特性のために必要な費用について

主管課 高校教育課 管理運営班

発行年月：2023年 3月31日  
発行：宮城県松島高等学校 観光科